令和２年 11 月 17 日

治験依頼者、モニタリング又は監査担当者　様

名古屋大学医学部附属病院
病　　院　　長　小寺　泰弘
先端医療開発部長　安藤　雄一

新型コロナウィルス感染症（COVID-19）対策について

国内における新型コロナウィルス感染症（COVID-19）の拡大により、当院における治験関連部門において、下記の対応にご協力いただきありがとうございます。

COVID-19 においては収束の目途が立たないため、SDV の実施を「仮 SDV 室」を確保して運用してきましたが、この運用について期間設定を設けず継続することといたします。

引き続き、感染防止策の下記対応についてご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

記

・電話、メール、Ｗｅｂ会議等で行える業務は、来院を自粛してください。
・対面での打合せが必要な場合は、最少人数・最短時間にしてください。
・発熱など体調不良の場合は、来院を自粛ください。
・来院が必要な場合は、必ずマスク着用と手指消毒をしてください。
・モニタリングは、可能な限りリモート SDV を検討してください。

「仮 SDV 室の利用について」

- 対象 SDV：被験者登録後（適格性確認）、カットオフ（要相談）、終了時を優先（その他については担当 CRC を通じて個別相談）
- SDV 可能日時：11 月以降、毎週水・木曜日、9 時～17 時（時間厳守）
- SDV 可能人数：最大 4 名
- SDV 予約方法：従来どおりシステム予約
- 仮 SDV 室までの動線：患者含む院内関係者との接触を避ける動線を案内（別途、案内マップ配布）
- その他、利用についての注意事項は SDV 時に説明

以上